

楽しい実ぐみ

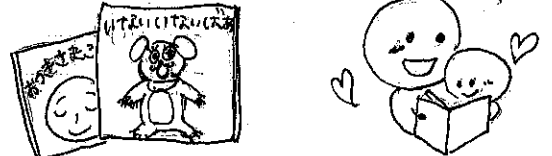
水あそび・プールが楽しい!!



梅雨が明けると一気に暑くなり、水あそびが気持ちよくなりました。まだ園生活を始めて3ヶ月程のしいのみぐみさんにと、保育園の屋上での水あそびは初めての経験です。水あそびをするために屋上へ上がると他のクラスの子もたくさん遊んでいて少し圧倒されてしまいましたが、子どもたち、初めての頃はドキドキして涙することもありますが、少しずつ土間戸にも慣れてきています。又、屋上に行けば「水あそびが大好き!」と分かってくる。お部屋で着ていた服を脱いで水あそびの準備を始めると嬉しそうにエレベーターの方へ行く子どもたちです。今では屋上に着くと、子どもたち自らプールに入りたくてプールの側へ行く。水の入ったクワイの戸へ行く。屋上での水あそびやプールを始めるようになってきています。水を小布がたり、嫌がりたりする子がいない。しいのみぐみさんなので、大好きな水あそびを通して、体だけでなく心もタイナックに解放させて遊んでほしいなと思っています。保育者も一糸着ずに汗山笑って8月も楽しんでいきたいと思っています。

絵本も大好き!!

毎日1~2冊のくり返しの言葉の絵本やあらうた絵本を見ている。これも最初はあまり興味味がなく、1冊見るともなかなかな... でした。同じ絵本を毎日くり返して見るようになったこと、今では「絵本見よ、か」と保育者が言うとニコニコ集まってくる。絵本を見ながら絵本と同じようにお辞儀をしたり、バイバイをしたり模倣も盛んになってきました。この模倣もとても大切で、例えば「バイバイ」というのは言葉に合わせて手を振るという「言葉と動作の結びつき」です。生活の中でも、タオルは顔を拭く物、電話は耳にあてる物、という物の役割や音が理解できるようにすると、音声にも意味付けがされ、それが「言葉」となっていきます。子どもはこのような物や事象を見る、聞く、触れる、など五感を通して経験から言葉のものとつながる認知能力を高めています。毎日の生活の中で絵本を見ている子どもたちの笑顔にとっても癒されます。かわいい笑顔や模倣、そして少しずつ出てくる言葉、どれも素敵です。そんな素敵な子どもたちと出会える絵本の時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。お家でも是非、一糸着ずに絵本の時間を楽しんでみて下さい☆



しいの実ぐみ たんぽぽぐみ みずぐみ クラスだよ

長い梅雨が明けたかと思うと、暑くて溶けてしまふ毎日です。しかし、子どもたちは、それぞれのクラスでプールや水あそびを楽しんでいます。長いようで短い夏は、あっという間に過ぎ去ってしまっています。そんな夏もいよいよはかばかしく充実した毎日を送れるようにしたいと思っています。夏は暑さや水に触れることで、疲れやすくなります。ご家庭でも十分に休息できるように心がけてください。

たんぽぽぐみ



プールあそび 気持ちいいなあ...

7月からプールあそびが始まりました。プールそのものが初めての子どもも多かったと思います。初めの頃は、また水温も低いことや慣れない環境のため、不安そうにしていた子どもたちでしたが、梅雨が明けた頃からは水温もあがり始め、ゆがゆが泳ぐようになってきました。水の中で腹這いになってワニ泳ぎをし、保育者の脚の間やフーフーしたり、保育者に抱えてもらい、身体をゆらゆら揺らしてもらい楽しんでいます。水の中に身体を浸けることだけでも怖かったのか、嫌がっている子どももいます。しかし、毎日、プールに入ること、自然と水の中で腰を下ろしてしゃがみこんで泳ぐようになってきました。みんなが少しずつでも慣れて、みんなが大胆に楽しむ気持ちも発散し、開放的になってほしいと思います。

感触あそび サラサラ... トロトロ... アレ...?

片栗粉で感触あそびをしました。以前にも小麦粉粘土をしたのですが、感触に敏感な子どもが多く、みんなで楽しむのは難しい状況でした。一方、平気な子どもは、全身粉まみれで楽しんでいました。自ら、身体や頭に粉をつけています。片栗粉は小麦粉と違い、片栗粉に水を加えて、手に持ったトロトロと溶けてしまい、また固まります。小麦粉と片栗粉の違いに気づいたかはわかりませんが、握ったり、手足についた片栗粉をはかいて楽しんでいました。苦手な子どもには、お返りで、友だちが楽しんでいる姿を見て、やってみようかなと興味関心を持ち、手を伸ばして触れて楽しんでもらいたいと思います。夏は、始まったばかりです。またまた暑い日は続きます。体調を崩さぬように、夏ならではのあそびを、みんなで楽しんで、健康的に過ごせるようにしたいと思っています。

みずぐみ

太陽がきらきらと照りつける暑い夏がやってきました。待ちにまったプールも始まり、子どもたちも「今日プール入る?」と毎日朝に確認しています。プールに入ると、水の冷たさに「きゃー」と叫ぶ子どもや肩まで水につかったり、入ったとたんに水をかけあって楽しんで見られる様子が見られます。中には、「見ててや!」と顔を水につけられる子どもや、プールのはしこで静かに水の冷たさを楽しんでる子どもなど様々です。プールに入る前の時間では、お散歩に行ったり、泥んこ、氷遊びなどの感触あそびも楽しみました。氷あそびをした時には、巨大な氷を持つとしますが、冷たくて、「つめたっ!」と落としてしまう子どももいました。外の気温が暑い中、冷たい氷が気持ちいいようでほっぺにつけたり、手の平で氷が溶けていく様子をじっくり見て、「とけた〜」と言っていました。8月も暑い日が続くので体調の変化に気をつけ、プール遊びや感触あそびを楽しみたいと思います。

遊びの中でのやり取り

友だちとの関わりが増えた一方で「これはわたしが使ってた」「いやだ、ぼく」とおもちゃの取りあいもよく見られます。まだ自分たちだけの解決は難しく手が出てしまうこともありますが、保育者がお互いの気持ちを伝えたりする中で「ごめんね」「はいどうぞ」「ありがとう」と自然に言葉が出てきています。ありがとうと言ってもらえると、大人でも嬉しいですね。まだうまく「貸して」と伝えられないこともありますが、子どもたちの気持ちを大切にしながら、保育者も関わっていただけるといいなと思います。

食事の様子



個人のマークと同じ野菜や果物が給食で出てくると、「あ、これ〇〇ちゃん(くん)の△△(野菜など)」と言っています。マークを通して自分以外の友だちの野菜にも興味を持って食べ、食感や味を楽しんでいます。給食では、おかわりを毎日している子どももいますが、中には野菜が苦手でもがんばっている子どももいます。皆に「見ててねー」と言って食べられた時には、周りの友だちから拍手があります。苦手なものは人それぞれなので、無理強いをせず、一口でも食べられたら「がんばったね」と褒めてあげたいですね。

